

川柳
「しあわせの
五・七・五」
MBSラジオ

山陽堂だより 24

山陽堂

2011年8月(葉月)

は

哀しみを
知って 笑いを
深くする

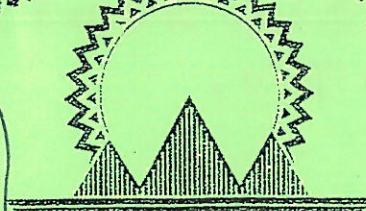
津波で家を流された
東松島市 津田公子さんの
句。
ラジオでこの句をきいた
リスナーから、応援句が
返ってくる。
いつの日か

旅はみちのく
決めている

津田さんから地震から10日後
海へ行ってみると人ごみとリいな
夕暮れときかめのなく声かとい
ひひいていた。
か、もめ口鳥く
なき人々を
呼ぶように

避難所では炊事班の女性たちやリーダーらの会談に
助けられたという。「野菜を切ったり、皿を洗ったりする時の
やりとりで、自然にふふと笑えるんです。そうたねえって
感じて」 そうした避難所の日々から生まれたのかこの句。
「哀しみを知って 笑いを深くする」(8/6毎日新聞夕刊「しあわせの川柳」)

SANYO DO SHOTEN



山陽堂書店

夏休みを
いたたきます

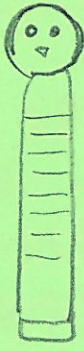
8/2(金)18時まで

8/13(土)~16(火)休業

こけしの中に
お雛様を
お入れして

こけしのお雛様が届いたら
おじいちゃん おばあちゃん 女の子 この子
父さん 母さん はなちゃん たろくん みなみん
¥703税込 うれい うれい
ホーター こけし入荷しました!!

切手代は120円



好きなあの人に
思いを伝えてませんか?

わたしのなまえは
ホーターこけし。
わたしをつくらしてくれたのは
東北宮城県の人さん。
東北に来てね。東北の品物を買ってね。
それか何よりの東北の力になります。
よろしくね。

山陽堂の
壁画を描いた

ギャラリー 山陽堂こけろの予定

会期中
日・祝日も

13時から
8時まで
営業

谷内六郎「土風とめり絵」展

2011年9月12日(月)～10月1日(土)

谷内六郎が絵と文で綴る少年の日々。

切なくて、おかしくて、美しく。

昭和初期の空気がみずみずしくよみがえる。

幻の自伝的作品。

青山とVANとTAKE IVY 石津謙介生誕100年

2011年 10月開催予定

18日祝日

島田紳介さんの「深い話」でもとりあげられた
石津謙介さんの企画展です。

「IVYは知性であり、今日のライフスタイルそのものである。

その表現形態をファッションであると考えればいい。

そう考えたとき、アイビーは新しいアイビーに成長すること

になるのだ。-石津謙介-

お詫言と訂正

山陽堂たまりく月号の

安西水ねさんシルクスツアー展

「公のシルク」出来事あれこれ

の箇所を「明治撃合会」の

解説と水ねさんが書かれていると

ありますが、この著書ではよく

文春文庫「合りのいのち」に

解説されています。

お詫言して訂正させて

いただきます。



山陽堂ホームページ

にもぜひ



めぐりに来て

ください。

URL <http://sanyodo-shoten.co.jp/>

サイトにもあります。

sanyodo book

Tel 03-3401-1309

FAX 03-3401-1358